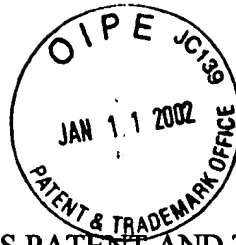


03500.015872



**PATENT APPLICATION**

2635-35  
01.24-02

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

**RECEIVED**

JAN 16 2002

Technology Center 2600

In re Application of:	)	
	:	Examiner: NYA
TOMOYUKI TAKEDA ET AL.	)	
	:	Group Art Unit: 2635
Application No.: 09/977,317	)	
	:	
Filed: October 16, 2001	)	
	:	
For: APPARATUS WITH COMMUNICA-	)	
TION FUNCTION, METHOD OF	:	
CONTROLLING APPARATUS, AND	)	
STORAGE MEDIUM STORING	:	
PROGRAM FOR CONTROLLING	)	
APPARATUS	:	January 9, 2002

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS**

Sir:

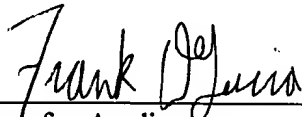
In support of Applicants' claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed are  
certified copies of the following foreign applications:

2000-316509, filed October 17, 2000; and

2001-301049, filed September 28, 2001.

Applicants' undersigned attorney may be reached in our New York office by telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,

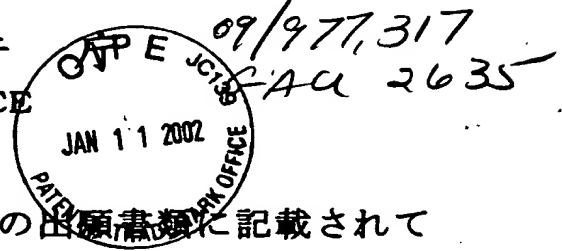
  
\_\_\_\_\_  
Attorney for Applicants  
Registration No. 42,476

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO  
30 Rockefeller Plaza  
New York, New York 10112-3801  
Facsimile: (212) 218-2200

NY\_MAIN 228909 v 1

CF05872 vs/jm  
App. No.:

日 本 国 特 許  
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年10月17日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-316509

出 願 人

Applicant(s):

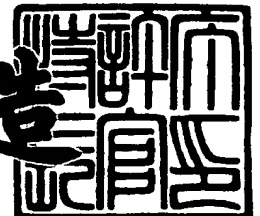
キヤノン株式会社

RECEIVED  
JAN 16 2002  
Technology Center 2600

2001年11月 9日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3098705

【書類名】 特許願

【整理番号】 4218011

【提出日】 平成12年10月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04B 7/26

【発明の名称】 画像処理システム、その制御方法および記憶媒体

【請求項の数】 42

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 武田 智之

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 中村 直巳

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 岡村 孝二

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 中尾 宗樹

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代表者】 御手洗 富士夫

【代理人】

【識別番号】 100081880

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡部 敏彦

【電話番号】 03(3580)8464

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007065

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703713

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理システム、その制御方法および記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムにおいて、

前記画像処理装置は、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続手段と、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信手段と、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御手段と、

前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成手段と、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信手段と、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換手段と、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御手段と

を有し、

前記情報処理装置は、

前記無線チャネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続手段と、  
前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、

前記無線チャネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信手段と、

該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成手段と、  
前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャネルを介して送信する送信手段と  
を有する  
ことを特徴とする画像処理システム。

【請求項 2】 前記情報処理装置側の送信手段は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理システム。

【請求項 3】 前記画像処理装置は、  
前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成手段  
を有し、

前記動作制御手段は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成手段は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する  
ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理システム。

【請求項 4】 前記疑似要求生成手段は、前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求

および動作指示要求を生成しない

ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理システム。

【請求項 5】 前記電力制御手段により前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御手段は、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成手段は、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御手段によらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御手段は、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成手段は、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項 3 または 4 のいずれかに記載の画像処理システム。

【請求項 6】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth 規格に準拠したものである

ことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の画像処理システム。

【請求項 7】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth 規格の Active モードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth 規格の Sniff モード、Hold モードまたは Park モードのいずれかである

ことを特徴とする請求項 6 に記載の画像処理システム。

【請求項 8】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置において、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続手段と、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信手段と、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御手段と、



前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成手段と、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信手段と、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換手段と、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御手段と

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 9】 前記情報処理装置は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない

ことを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】 前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成手段

を有し、

前記動作制御手段は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成手段は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項9に記載の画像処理装置。

【請求項11】 前記疑似要求生成手段は、前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成しない

ことを特徴とする請求項9に記載の画像処理装置。

【請求項12】 前記電力制御手段により前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御手段は、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成手段は、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御手段によらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御手段は、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成手段は、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項10または11のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項13】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth規格に準拠したものである

ことを特徴とする請求項8～12のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項14】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth規格のActiveモードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth規格のSniffモード、HoldモードまたはParkモードのいずれかである

ことを特徴とする請求項13に記載の画像処理装置。

【請求項15】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムを制御する画像処理システム制御方法において、

前記画像処理装置に対しては、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップ

と、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、

前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップと

を有し、

前記情報処理装置に対しては、

前記無線チャネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続ステップと、

前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、

前記無線チャネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信ステップと、

該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成ステップと、

前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと

を有する

ことを特徴とする画像処理システム制御方法。

【請求項 1 6】 前記情報処理装置に対する送信ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない

ことを特徴とする請求項 1 5 に記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 1 7】 前記画像処理装置に対しては、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成ステップを有し、

前記動作制御ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 1 8】 前記疑似要求生成ステップでは、前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成しない

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 1 9】 前記電力制御ステップにより前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前

記動作制御ステップでは、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御ステップによらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項 17 または 18 のいずれかに記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 20】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth 規格に準拠したものである

ことを特徴とする請求項 15～19 のいずれかに記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 21】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth 規格の Active モードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth 規格の Sniff モード、Hold モードまたは Park モードのいずれかである

ことを特徴とする請求項 20 に記載の画像処理システム制御方法。

【請求項 22】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置を制御する画像処理装置制御方法において、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、

前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップと

を有することを特徴とする画像処理装置制御方法。

【請求項 2 3】 前記情報処理装置は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない

ことを特徴とする請求項 2 2 に記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 2 4】 前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成ステップ

を有し、

前記動作制御ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて

当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成することを特徴とする請求項 23 に記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 25】 前記疑似要求生成ステップでは、前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成しないことを特徴とする請求項 24 に記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 26】 前記電力制御ステップにより前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御ステップによらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成することを特徴とする請求項 24 または 25 のいずれかに記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 27】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth 規格に準拠したものである

ことを特徴とする請求項 22 ～ 26 のいずれかに記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 28】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth 規格の Active モードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth 規格の Sniff モード、Hold モードまたは Park モードのいずれかであることを特徴とする請求項 27 に記載の画像処理装置制御方法。

【請求項 29】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムを制御する画像処理システム制御方法を含む、コンピュータが実現できるプログラム

を格納した記憶媒体において、

前記画像処理システム制御方法は、

前記画像処理装置に対しては、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、

前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップと

を有し、

前記情報処理装置に対しては、

前記無線チャネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続ステップと、



前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、

前記無線チャンネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信ステップと、

該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成ステップと、

前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャンネルを介して送信する送信ステップと

を有する

ことを特徴とする記憶媒体。

【請求項 30】 前記情報処理装置に対する送信ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない

ことを特徴とする請求項 29 に記載の記憶媒体。

【請求項 31】 前記画像処理システム制御方法は、

前記画像処理装置に対しては、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成ステップ

を有し、

前記動作制御ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項 30 に記載の記憶媒体。

【請求項 32】 前記疑似要求生成ステップでは、前記スタンバイ状態が前

記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成しない

ことを特徴とする請求項 3 0 に記載の記憶媒体。

【請求項 3 3】 前記電力制御ステップにより前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御ステップによらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する

ことを特徴とする請求項 3 1 または 3 2 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 3 4】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth 規格に準拠したものである

ことを特徴とする請求項 2 9 ～ 3 3 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 3 5】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth 規格の Active モードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth 規格の Sniff モード、Hold モードまたは Park モードのいずれかである

ことを特徴とする請求項 3 4 に記載の記憶媒体。

【請求項 3 6】 所定の無線プロトコルで無線チャネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置を制御する画像処理装置制御方法を含む、コンピュータが実現できるプログラムを格納した記憶媒体において、

前記画像処理装置制御方法は、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、

前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状

態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、

該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、

前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、

該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、

前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切替ステップと、

通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切替ステップと、

前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップと  
を有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 3 7】 前記情報処理装置は、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記動作状態取得要求および前記動作指示要求を送信しない  
ことを特徴とする請求項 3 6 に記載の記憶媒体。

【請求項 3 8】 前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成する疑似要求生成ステップ  
を有し、

前記動作制御ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えら

れているときには、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御し、

前記動作状態情報生成ステップでは、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられているときには、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成することを特徴とする請求項 3 7 に記載の記憶媒体。

【請求項 3 9】 前記疑似要求生成ステップでは、前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられているときには、前記擬似的な動作状態取得要求および動作指示要求を生成しないことを特徴とする請求項 3 8 に記載の記憶媒体。

【請求項 4 0】 前記電力制御ステップにより前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記受信した動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成する一方、

前記電力制御ステップによらずに前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えられたときには、前記動作制御ステップでは、前記生成された擬似的な動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御するとともに、前記動作状態情報生成ステップでは、前記生成された擬似的な動作状態取得要求に応じて動作状態情報を生成することを特徴とする請求項 3 8 または 3 9 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 4 1】 前記所定の無線プロトコルは、Bluetooth 規格に準拠したものであることを特徴とする請求項 3 6 ～ 4 0 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 4 2】 前記通常消費電力モードは、Bluetooth 規格の Active モードであり、

前記低消費電力モードは、Bluetooth 規格の Sniff モード、Hold モードまたは Park モードのいずれかであることを特徴とする請求項 4 1 に記載の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、無線インタフェースを介して接続された画像処理装置と複数の情報処理装置からなる画像処理システム、その制御方法および記憶媒体に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

パーソナルコンピュータなどの情報処理端末に接続可能なファクシミリ装置として、たとえば、特開平 7 - 2 8 8 6 2 5 ~ 特開平 7 - 2 8 8 6 3 0、特開平 7 - 2 8 8 6 3 7 ~ 特開平 7 - 2 8 8 6 4 5、特開平 7 - 2 8 8 6 7 1、特開平 8 - 3 0 7 7 0 2 に記載されているように、セントロニクスなどの双方向パラレルポート（IEEE 1 2 8 4 準拠）、あるいは、ユニバーサルシリアルバス（Universal Serial BUS（USB））などの有線インタフェースで接続するものは、従来から知られている。

【 0 0 0 3 】

このような画像処理システムでは、情報処理端末が主導権を握り、情報処理端末からのコマンドにファクシミリ装置がレスポンスを返すという形態で制御やデータの授受が行われていた。

【 0 0 0 4 】

そして、このようなファクシミリ装置は、情報処理端末からのコマンドにレスポンスを返す必要から、情報処理端末と接続された状態では、省電力スタンバイ状態に移行しないようにしていた。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記従来の画像処理システムでは、接続ケーブルの長さに制限があり、これにより、たとえば情報処理端末とファクシミリ装置とを隣接して設置しなければならないなど、ユーザにとって必ずしも使いやすく装置の設置ができなかった。

【 0 0 0 6 】

また、上記従来の画像処理システムでは、実現する機能によっては絶えず情報処理端末側からファクシミリ装置の状態をポーリングする必要が生じ、ファクシミリ装置の状態をポーリングするコマンドとそのレスポンスを定期的に授受する必要があった。したがって、単に情報処理端末とファクシミリ装置のインタフェースだけを有線から無線に変更したのでは、情報処理端末とファクシミリ装置の間で上記状態をポーリングするコマンドとそのレスポンスを常時無線で授受することになり、このため、無線チャンネルを占有するとともに、上記コマンドとレスポンスの送受により電力を消費してしまうといった問題があった。

## 【0007】

さらに、上記従来の画像処理システムでは、情報処理端末と接続された状態のファクシミリ装置は省電力スタンバイ状態に移行できないため、その状態のファクシミリ装置は、省電力スタンバイ状態に移行可能であったとしても移行できず、無駄な電力を消費していた。

## 【0008】

本発明は、この点に着目してなされたものであり、情報処理装置と画像処理装置の設置場所の自由度を飛躍的に向上させ、これにより、ユーザが各装置を使い易いように自由にレイアウトすることができる画像処理システム、その制御方法および記憶媒体を提供することを第1の目的とする。

## 【0009】

また、本発明は、無線チャンネルを占有せず、画像処理装置の状態をポーリングするコマンドおよびそのレスポンスの送受による電力消費を低減させることが可能な画像処理システム、その制御方法および記憶媒体を提供することを第2の目的とする。

## 【0010】

さらに、画像処理装置が情報処理装置と接続された状態であっても省電力スタンバイ状態に移行でき、これにより、さらに消費電力を低減させることが可能な画像処理システム、その制御方法および記憶媒体を提供することを第3の目的とする。

## 【0011】

## 【課題を解決するための手段】

上記第1～第3の目的を達成するため、本発明における画像処理システムは、所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムにおいて、前記画像処理装置は、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続手段と、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信手段と、該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御手段と、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成手段と、該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信手段と、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換手段と、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御手段とを有し、前記情報処理装置は、前記無線チャネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続手段と、前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、前記無線チャネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信手段と、該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成手段と、前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャネルを介して送信する送信手段とを有するこ

とを特徴とする。

【0012】

また、上記第1～第3の目的を達成するため、本発明における画像処理装置は、所定の無線プロトコルで無線チャネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置において、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続手段と、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信手段と、該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御手段と、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成手段と、該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信手段と、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続手段による無線接続を行うモード切換手段と、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換手段と、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御手段とを有することを特徴とする。

【0013】

また、上記第1～第3の目的を達成するため、本発明における画像処理システム制御方法は、所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムを制御する画像処理システム制御方法において、前記画像処理装置に対しては、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得す



るための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、該生成された動作状態情報を前記無線チャンネルを介して送信する送信ステップと、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップとを有し、前記情報処理装置に対しては、前記無線チャンネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続ステップと、前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、前記無線チャンネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信ステップと、該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成ステップと、前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャンネルを介して送信する送信ステップとを有することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

また、上記第 1 ～ 第 3 の目的を達成するため、本発明における画像処理装置制御方法は、所定の無線プロトコルで無線チャンネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置を制御する画像処理装置制御方法において、前記無線チャンネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと

、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップとを有することを特徴とする。

## 【 0 0 1 5 】

上記第 1 ～ 第 3 の目的を達成するため、本発明における記憶媒体は、所定の無線プロトコルで無線チャネルを介してデータを相互に送受信する画像処理装置および情報処理装置からなる画像処理システムを制御する画像処理システム制御方法を含む、コンピュータが実現できるプログラムを格納した記憶媒体において、前記画像処理システム制御方法は、前記画像処理装置に対しては、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、前記無線チャネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、該受信した動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成す

る動作状態情報生成ステップと、該生成された動作状態情報を前記無線チャンネルを介して送信する送信ステップと、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切替ステップと、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切替ステップと、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップとを有し、前記情報処理装置に対しては、前記無線チャンネルを介して前記画像処理装置と無線接続する無線接続ステップと、前記画像処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記画像処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切替ステップと、前記無線チャンネルを介して前記画像処理装置から前記動作状態情報を受信する受信ステップと、該受信した動作状態情報に基づいて前記動作指示要求を生成する生成ステップと、前記動作状態取得要求または前記動作指示要求を前記無線チャンネルを介して送信する送信ステップとを有することを特徴とする。

## 【 0 0 1 6 】

また、上記第 1 ～ 第 3 の目的を達成するため、本発明における記憶媒体は、所定の無線プロトコルで無線チャンネルを介して、情報処理装置とデータを相互に送受信する画像処理装置を制御する画像処理装置制御方法を含む、コンピュータが実現できるプログラムを格納した記憶媒体において、前記画像処理装置制御方法は、前記無線チャンネルを介して前記情報処理装置と無線接続する無線接続ステップと、前記無線チャンネルを介して前記情報処理装置から、当該画像処理装置の動作状態を取得するための動作状態取得要求を受信するとともに、当該画像処理装置の動作を指示するための動作指示要求を受信する受信ステップと、該受信した

動作指示要求に応じて当該画像処理装置の動作を制御する動作制御ステップと、前記受信した動作状態取得要求に応じて当該画像処理装置の動作状態を示す動作状態情報を生成する動作状態情報生成ステップと、該生成された動作状態情報を前記無線チャネルを介して送信する送信ステップと、前記情報処理装置と通常消費電力状態でデータの送受信を行う通常消費電力モードと、前記情報処理装置と低消費電力状態で前記データのうち一部のデータの送受信を行う低消費電力モードとを切り換えて、前記無線接続ステップによる無線接続を行うモード切換ステップと、通常スタンバイ状態と、該通常スタンバイ状態より消費電力の少ない省電力スタンバイ状態とを切り換えるスタンバイ状態切換ステップと、前記モードが前記低消費電力モードに切り換えられ、かつ前記スタンバイ状態が前記省電力スタンバイ状態に切り換えられている状態で、前記モードが前記低消費電力モードから前記通常消費電力モードに切り換えられたときには、前記スタンバイ状態も前記省電力スタンバイ状態から前記通常スタンバイ状態に切り換えるように制御する電力制御ステップとを有することを特徴とする。

【0017】

## 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。

【0018】

図1は、本発明の一実施の形態に係る画像処理システムを構成する画像処理装置201の概略構成を示すブロック図であり、本実施の形態では、画像処理装置としてファクシミリ装置を想定している。

【0019】

同図において、CPU101は、システム制御部であり、画像処理装置201全体を制御する。ROM102は、CPU101が実行する制御プログラムやオペレーティングシステム(OS)プログラムなどを格納する。RAM103は、SRAM(static RAM)等で構成され、プログラム制御変数等を格納する。また、RAM103には、オペレータが登録した設定値や装置201の管理データ等も格納され、各種ワーク用バッファ領域が設けられている。画像メモリ104は、DRAM(dynamic RAM)等で構成され、画像データを

蓄積する。本実施の形態では、ROM102に格納されている各制御プログラムは、ROM102に格納されているOSの管理下でスケジューリングやタスクスイッチなどのソフトウェア制御を行う。

【0020】

操作部108は、各種キー、LED（発光ダイオード）およびLCD（液晶ディスプレイ）等によって構成され、オペレータによる各種入力操作や、画像処理装置201の動作状況の表示などを行う。

【0021】

読取制御部106は、読取部107がCSイメージセンサ（密着型イメージセンサ）によって原稿を光学的に読み取り、電気的な画像データに変換した画像信号を、図示しない画像処理制御部を介して2値化処理や中間調処理などの各種画像処理を施して高精細な画像データを出力する。なお、本実施の形態では、読取制御部106は、原稿を搬送しながら読取を行うシート読取制御方式と、原稿台にある原稿をスキャンするブック読取制御方式の両制御方式に対応している。

【0022】

記録制御部113は、レーザビームプリンタやインクジェットプリンタ等からなるカラープリンタ114によって印刷される画像データに対し、図示しない画像処理制御部を介してスムージング処理や記録濃度補正処理、色補正などの各種画像処理を施して高精細な画像データに変換し、カラープリンタ114に出力する。

【0023】

通信制御部109は、MODEM（変復調装置）やNUC（網制御装置）などによって構成されている。本実施の形態では、通信制御部109は、アナログの通信回線（PSTN）203に接続され、T30プロトコルでの通信制御、通信回線に対する発呼および着呼などの回線制御を行っている。また、留守録制御部110は、音声IC（integrated circuit）や音声録音再生制御部（図示せず）などによって構成され、留守番電話機能を提供する。

【0024】

符号復号化処理部112は、画像処理装置201で扱う画像データの符号復号

化処理や拡大縮小処理を行う。また、解像度変換処理部111は、画像データのミリーインチ解像度変換などの解像度変換制御を行う。なお、解像度変換部111においても画像データの拡大縮小処理は可能である。さらに、データ変換部105は、ページ記述言語(PDL)などの解析やキャラクタデータのCG(computer graphics)展開など、画像データの変換を行う。

## 【0025】

Bluetooth制御部115は、Bluetoothの通信制御を行うものであり、Bluetoothの規格に従ってプロトコル制御を行い、CPU101が実行するBluetooth制御タスク(後述する図3参照)からのコマンドをパケットにしてBluetoothベースバンド処理部116に送信したり、逆にBluetoothベースバンド処理部116からのパケットをコマンドとしてCPU101に送信したりする。

## 【0026】

Bluetoothベースバンド処理部116は、Bluetoothの周波数ホッピング処理やフレームの組立・分解処理を行う。

## 【0027】

2.4GHz高周波部117は、Bluetoothが使用する2.4GHz帯の電波を送受信する。

## 【0028】

拡張スロット120は、画像処理装置201にオプションボードを挿入するためのスロットで、このスロット120には、拡張画像メモリやSCSI(Small Computer System Interface)ボード、ビデオインタフェースボードなどの各種オプションボードを取り付けることが可能である。

## 【0029】

パワー制御部118は、本システムを省電力スタンバイモードにしたり、省電力モードから通常モードに復帰させたりする。このパワー制御部118に関しては、図2を用いて後述する。

## 【0030】

電源部119は、カラープリンタ114を含む本システム全体に電源を供給する。

【0031】

図2は、パワー制御部118とその周辺の構成を示すブロック図である。

【0032】

ある一定時間、読み取りや記録、通信、キー入力などの処理が行われない場合、ファクシミリ装置201は省電力スタンバイモードになる。省電力スタンバイモードへ移行すると、CPU101はホールドモードなどのスリープ状態となり、パワー制御部118には省電力モードになったことが通知される。

【0033】

Bluetoothインタフェースに関しては、ファクシミリ装置201が参加しているPiconetにおいて、コマンドのやり取りをするとき以外はファクシミリ装置201はParkモードに移行することになっているので、省電力モードではファクシミリ装置201が参加している全てのPiconetにおいてParkモードになっている。

【0034】

パワー制御部118は、省電力モードになったことを知ると、省電力モードからの復帰要因となる信号を受けつける準備をして、コントロール信号133により、電源部119に対して駆動系の電源供給を停止させる。なお、このとき、カラープリンタ114や読み取り部107への電源供給も停止するようにしてもよい。

【0035】

省電力モードから通常モードに復帰させる要因となる信号は、読み取り部107に読み取るべき原稿があることを示す信号134、電話回線から呼び出し信号が着信したことを示す信号135、ハンドセットがオフフックになったことを示す信号136の他に、ファクシミリ装置201が参加しているPiconetにおいて“Active”に復帰したことを示すBluetooth制御部115からの信号132も含まれる。また、この他に、操作部108から何らかのキー入力があった場合にも省電力モードから通常モードに復帰させるようにしてもよ

い。

【0036】

前記省電力モードから復帰させる要因となる信号がアクティブになったことを検出すると、パワー制御部118は、CPU101をスリープ状態から復帰させるインタラプト信号131をCPU101に送信する。これによって、CPU101は、通常モードに復帰する。また、電源部119に対しては、コントロール信号133によって、供給を停止していた電源を復活させる。

【0037】

図3は、本実施の形態の画像処理システムの構成の一例を示すブロック図である。

【0038】

同図に示すように、本実施の形態のシステムは、画像処理装置であるファクシミリ装置201と、パーソナルコンピュータ（PC）に代表される情報処理端末202と、前記通信回線203と、この通信回線203に接続された相手側端末（たとえばファクシミリ装置やPCなど）204とによって構成されている。

【0039】

ファクシミリ装置201は、通信回線203に接続されていて、相手側端末204とファクシミリ通信を行うことができる。また、ファクシミリ装置201は、無線で情報処理端末202とも接続することができる。本実施の形態では、無線部分はBluetoothとしているので、情報処理端末202にBluetooth通信用のユニットが内蔵されているか、もしくはBluetooth通信用のユニットが情報処理端末202に接続されていれば、情報処理端末202との間で画像データの送受信や、各種データやプログラムのやりとりもできる。さらに本実施の形態では、画像処理装置201としてファクシミリ装置を採用しているが、これに限らず、たとえばスキャナ機能およびプリンタ機能を備えたマルチファンクション装置であってもよいし、あるいはスキャナ機能やプリンタ機能が付加されたE-Mail端末など、他の画像処理装置であっても、本発明の本質からはずれるものではない。

【0040】



図4は、ファクシミリ装置201のCPU101が実行する制御ソフトウェアの階層構造の一例を示す図である。

【0041】

同図に示すように、制御ソフトウェアの最上位レイヤには、Scanner制御タスク301、Printer制御タスク302、Fax制御タスク303、MMI制御タスク304およびPhone制御タスク305の5種類の制御タスクがあり、各制御タスク301～305は、ファクシミリ装置201のデバイス制御やユーザ操作部分の制御を行っている。

【0042】

その下位レイヤには、ジョブコントロールタスク306があり、ジョブコントロールタスク306は、その下位レイヤであるイベントコントロールタスク307からのジョブを解析して振り分け、前記最上位レイヤの制御タスク301～305にキューイングを行う。

【0043】

イベントコントロールタスク307は、その下位のBluetooth制御タスク308から受け取ったイベントを解析し、前記最上位レイヤの制御タスク301～305のうち対応する制御タスクに対して、コマンドのキューイングを行う。

【0044】

Bluetooth制御タスク308は、その上位レイヤのイベントコントロールタスク307から情報処理端末202へ送信しようとする情報を受け取ると、その下位レイヤのBluetoothコントローラ309へその情報を引き渡す。また、Bluetooth制御タスク308は、その下位レイヤのBluetoothコントローラ309から上位レイヤ宛ての情報を受け取ると、その上位レイヤのイベントコントロールタスク307へ情報を引き渡す。このような情報の授受を行うモードのことを、コマンドスルーモードという。

【0045】

また、Bluetooth制御タスク308は、その上位レイヤのイベントコントロールタスク307から情報処理端末202へ送信しようとする情報を受け

取った場合でも、本タスク308自身の判断で上位レイヤへすぐにレスポンスを返すことができると判断したときには、下位レイヤへ情報を渡すことをなく上位レイヤへレスポンスを返す。このような情報の授受を行うモードのことを、コマンドリターンモードという。

## 【0046】

Bluetoothコントローラ309は、Bluetoothドライバ310とともに、Bluetoothコントローラ309の上位レイヤから受け取った情報をBluetoothの“Generic Access Profile”とその下位概念である“Serial Port Profile”に従った無線情報に変換する、いわゆるエアインタフェースを形成する。エアインタフェースに関しては公知の技術であるので、その説明を割愛する。

## 【0047】

OS311は、ファクシミリ装置201の機器組み込み型のオペレーティングシステムであり、上記制御ソフトウェアの各階層に対するタスクスイッチングやイベント管理、メモリ管理等を行う公知の機能を有している。

## 【0048】

図5は、情報処理端末202のCPU（図示せず）が実行する制御ソフトウェアの階層構造の一例を示す図である。

## 【0049】

同図において、情報処理端末202およびファクシミリ装置201間での制御情報の授受は、最上位レイヤにあるファクシミリマネージャ401、プリンタアプリケーション404およびスキャナアプリケーション406などが生成する情報を、インボックス402、アウトボックス403、プリンタドライバ405、スキャナドライバ407を経由して、インタフェースモジュール408に受け渡すことによりなされる。制御が、ファクシミリマネージャ410によって行われているか、ドライバの一つによって行われているかに拘わらず、インタフェースモジュール408は、送信するファクシミリ画像やスキャンする画像などのファイルの転送、ファクシミリ受信画像の読み込み、プリントする画像の転送等を管理する。

## 【0050】

Bluetooth制御タスク409は、その上位レイヤのインタフェースモジュール408からファクシミリ装置201へ送信しようとする情報を受け取ると、その下位レイヤのBluetoothコントローラ410へその情報を引き渡す（コマンドスルーモードにおける動作処理）。

## 【0051】

また、Bluetooth制御タスク409は、その上位レイヤのインタフェースモジュール408からファクシミリ装置201へ送信しようとする情報を受け取った場合でも、本タスク409自身の判断で上位レイヤへすぐにレスポンスを返すことができると判断したときには、下位レイヤへ情報を渡すことなく上位レイヤへレスポンスを返す（コマンドリターンモードにおける動作処理）。

## 【0052】

Bluetoothコントローラ410は、Bluetoothドライバ411とともに、Bluetoothコントローラ410の上位レイヤから受け取った情報をBluetoothの“Generic Access Profile”とその下位概念である“Serial Port Profile”に従った無線情報に変換する、いわゆるエアインタフェースを形成する。

## 【0053】

OS412は、情報処理端末202内にインストールされているオペレーティングシステムであり、上記制御ソフトウェアの各階層やアプリケーションの制御サービスにおける基盤部分を管理する。

## 【0054】

図6は、情報処理端末202の電源を立ち上げた時の、情報処理端末202およびファクシミリ装置201間の通信フローを示す図であり、同図には、各装置201、202が初期化処理から待機状態に移行するまでの、各装置201、202の各動作状態の遷移が示されている。このとき、ファクシミリ装置201の電源は既に立ち上げられているものとする。

## 【0055】

情報処理端末202の電源が立ち上がると、Bluetooth対応のファク

シミリマネージャ401が起動し、ファクシミリ装置201と接続するための処理を行う。

【0056】

すなわち、接続先のファクシミリ装置201が通信できる状態にあることを確認するために、Bluetooth制御タスク409は、Inquiry送出要求をBluetoothコントローラ410に送信する。このとき、Inquiryコマンド内の“Class of Device”情報を「シリアル通信端末」として送信する。

【0057】

Inquiry送出要求を受けると、Bluetoothコントローラ410は、Bluetoothの接続手順に従いInquiry手順を行い、その結果(“Inquiry Result”)をBluetooth制御タスク409に通知する。Bluetooth制御タスク409は、“Inquiry Result”を受信すると、その内容からファクシミリ装置201と接続可能か否かを判断し、接続可能なときには、ファクシミリ装置201のアドレスを指定してBluetoothコントローラ410に対して接続要求を行う一方、“Inquiry Result”の内容から、接続が失敗、あるいは、接続先のファクシミリ装置が見つからないときには、その旨のメッセージを情報処理端末202の表示部(図示せず)に表示する。

【0058】

Bluetoothコントローラ410は、接続要求を受けると、ファクシミリ装置201のBluetoothコントローラ309に対して、Bluetoothの規格に基づき“Serial Port Profile”を使用するコネクションの確立を行う。そして、コネクションが確立したときには、Bluetoothコントローラ410は、その結果をBluetooth制御タスク409に通知する。

【0059】

Bluetooth制御タスク409は、接続結果から、ファクシミリ装置201とのコネクションが確立できたことを検知すると、Ready信号をファク

シミリマネージャ401に送信し、ファクシミリマネージャ401からのコマンドをBluetoothコントローラ410にそのまま渡す、コマンドスルーモードに状態を移行する。

【0060】

また、Bluetooth制御タスク409は、接続結果から、接続の確立に失敗した旨のメッセージを受け取ると、それを情報処理端末202の前記表示部に表示する。

【0061】

ファクシミリ装置201のBluetoothコントローラ309は、情報処理端末202との接続確立手順の結果をBluetooth制御タスク308に通知する。Bluetooth制御タスク308は、接続確立手順の結果から接続が確立されたことを確認すると、情報処理端末202からのコマンドをそのままイベントコントロールタスク307に渡すために、コマンドスルーモードに入り、情報処理端末202からのコマンドを待つ。一方、接続に失敗したときには、Bluetooth制御タスク308は、接続が確立するまで待ち状態となる。

【0062】

ファクシミリマネージャ401は、Bluetooth制御タスク409からReady信号を受信すると、情報処理端末202が有する日付情報やファクシミリマネージャ401に登録されている名称等のデータをファクシミリ装置201に転送するためのコマンドをBluetooth制御タスク409に送信する。

【0063】

Bluetooth制御タスク409は、受信したコマンドをそのままBluetoothコントローラ410に転送し、Bluetoothコントローラ410は、“Serial Port Profile”を使い、ファクシミリ装置201に転送する。

【0064】

ファクシミリ装置201のBluetoothコントローラ309は、情報処

理端末202から送信されてきたコマンドをBluetooth制御タスク308に送信し、Bluetooth制御タスク308は、そのコマンドをそのままイベントコントロールタスク307に渡す。

【0065】

イベントコントロールタスク307は、受信したコマンドを解析し、その結果をBluetooth制御タスク308に送信する。

【0066】

このようにして、初期化処理が終了すると、ファクシミリマネージャ401は、ファクシミリ装置201に受信画像があるか否かのチェックを行うために、受信情報取得コマンドを発行する。受信情報取得コマンドを受信したイベントコントロールタスク307は、RAM103に記憶されている画像管理レコードに対して受信した画像があるか否か検索を行う。受信した画像があるときには、Bluetooth制御タスク308が発行する受信情報取得コマンドに対し「画像あり」のレスポンスを返し、受信した画像がないときには、「画像なし」のレスポンスを返す。

【0067】

ファクシミリマネージャ401は、受信情報取得コマンドに対するレスポンスにより、画像ありと判断したときには、後述する図7の処理に従い受信画像転送処理を行う。

【0068】

一方、受信画像なしと判断したときには、ファクシミリマネージャ401は、ファクシミリ装置201の状態を記憶しておくために、状態情報取得コマンドを発行する。状態情報取得コマンドを受けたイベントコントロールタスク307は、プリンタの状態、スキャナの状態、メモリの状態等の、ファクシミリ装置201に関する状態をチェックしその旨のレスポンスを返す。

【0069】

ファクシミリマネージャ401は、状態情報取得コマンドのレスポンスから、エラー状態と判断した場合には、そのエラー状態を示すメッセージを、情報処理装置202の前記表示部に表示し、エラー状態が解消されるまで受信情報取得コ

マンドと状態情報取得コマンドを周期的に、イベントコントロールタスク307に発行する。

【0070】

受信画像がなく、ファクシミリ装置201の状態も正常な場合には、ファクシミリ装置201に受信があるまでは、情報処理端末202とファクシミリ装置201間の通信を接続しておく必要がないため、ファクシミリ装置201は、消費電力モードであるParkモードに移行する。

【0071】

すなわち、まず、ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308がBluetoothコントローラ309にParkモード移行要求を行う。Parkモード移行要求を受けたBluetoothコントローラ309は、Bluetoothの規格に従い、Bluetoothコントローラ410とParkモード移行手順を行う。

【0072】

移行手順が終了すると、各Bluetoothコントローラ309、410はそれぞれ各Bluetooth制御タスク308、409にParkモードに移行した旨を通知する。

【0073】

Parkモードに移行した旨の通知を受けると、各Bluetooth制御タスク308、409は、それぞれコマンドリターンモードになる。

【0074】

なお、本実施の形態では、省電力モードとしてParkモードを選択しているが、これに限らず、他の省電力モード、すなわちSniffモードまたはHoldモードのいずれかを選択するようにしてもよい。

【0075】

コマンドリターンモードになると、情報処理端末202のBluetooth制御タスク409は、RS232Cなどのシリアルインタフェースや、セントロニクス（IEEE1284などに既定の標準インタフェース）などのパラレルインタフェースといった有線で接続されたときのファクシミリ装置201のイベン

トコントロールタスク307と同様の処理を行う。すなわち、Bluetooth制御タスク409は、ファクシミリマネージャ401から周期的に発行される情報取得コマンドと受信情報取得コマンドに対し、情報処理端末202のRAM（図示せず）に記憶されているファクシミリステータス情報に基づいてレスポンスを返す。

#### 【0076】

ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308は、上述した有線で接続されたときの情報処理端末202のファクシミリマネージャ401と同様の動作を行う。ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308は、ファクシミリ装置201の状態変化や、他のファクシミリ装置から通信回線203を通じて画像を受信したか否かを常に監視するために、イベントコントロールタスク307に対して受信情報取得コマンドおよび状態情報取得コマンドを周期的に発行する。

#### 【0077】

本実施の形態では、ファクシミリ装置201は、ある一定時間動作がないと、図2で説明したように省電力スタンバイ（ESS）モードになる。省電力モードに入る前に、イベントコントロールタスク307は、Bluetooth制御タスク308からの状態情報取得コマンドに対して、ESS状態になることを表すレスポンスを返す。ESS状態のレスポンスを受けたBluetooth制御タスク308は、周期的に発行していた受信情報取得コマンドおよび状態情報取得コマンドの発行を停止して、ファクシミリ装置201が省電力モードに移行できるようにする。もし、省電力モードから通常スタンバイへの復帰があった場合には、図10を用いて後述する手順で、イベントコントロールタスク307が行ったESSからの復帰指示を受け付ける。

#### 【0078】

なお、初期化処理時、あるいは、情報処理端末202で登録データを変更しファクシミリ装置201に登録データを転送したときに、受信画像が情報処理端末202に転送しないと設定されている場合には、ファクシミリマネージャ401とファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308は、受信情報



取得コマンドと状態情報取得コマンドに発行を行わない。

【0079】

図7は、情報処理端末202に記憶されている画像データをファクシミリ装置201に転送し、ファクシミリ装置201が、指定された宛先にファクシミリ送信する送信サービス時の通信フローを示す図である。

【0080】

ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308は、省電力スタンバイ状態時、状態情報取得コマンドや受信情報取得コマンドなどを発行していない。

【0081】

情報処理端末202のBluetooth制御タスク409は、待機時、コマンドリターンモードになっており、ファクシミリマネージャ401から周期的に送られてくる状態情報取得コマンドと受信情報取得コマンドに対する返答を行っている。

【0082】

情報処理端末202で、ユーザが送信サービスを選択すると、ファクシミリマネージャ401は、送信指示コマンドと宛先電話番号が指定されたパラメータをBluetooth制御タスク409に対し送信する。

【0083】

送信指示コマンドとパラメータを受信したBluetooth制御タスク409は、送信サービスを行うためにファクシミリ装置201と情報処理端末202との通信を復帰させる。

【0084】

通信を復帰させるために、情報処理端末202のBluetooth制御タスク409は、Bluetoothコントローラ410にActive復帰要求を送る。

【0085】

Active復帰要求を受けたBluetoothコントローラ410は、Bluetoothの通信復帰手順に従い、ファクシミリ装置201のBluetooth

oothコントローラ309と通信を行う。通信が復帰すると、Bluetoothコントローラ410は、Bluetooth制御タスク409にモード変更通知を送出する。モード変更通知を受けたBluetooth制御タスク409は、その内容から通信が復帰したと判断したときには、送信指示コマンドをファクシミリ装置201に送出し、その後、コマンドリターンモードからコマンドスルーモードに移行する。

## 【0086】

モード変更通知の内容から通信が復帰できないと判断したとき、あるいは所定の時間以上Bluetoothコントローラ410から応答がないときには、Bluetooth制御タスク409は、そのままコマンドリターンモードの状態を維持し、ファクシミリマネージャ401に“NG”の返答を送信する。ファクシミリマネージャ401は、“NG”の返答を受信すると、送信サービスができない旨のメッセージを表示部に表示する。

## 【0087】

一方、ファクシミリ装置201のBluetoothコントローラ309は、情報処理端末202からのActive復帰要求を受信すると、Active復帰要求に基づくESSからの復帰要因となるパワー制御部118への信号132をアクティブにする。パワー制御部118は、これを受けて、CPU101にスリープモードから通常モードへ移行するインタラプト信号を送信するとともに、省電力スタンバイモードで停止させていた電源を再び供給するように、電源部119への信号133の状態を変化させる。

## 【0088】

そして、Bluetooth制御タスク308にモード変更通知を行う。モード変更通知を受けたBluetooth制御タスク308は、その内容から通信が復帰したと判断したときには、コマンドスルーモードに移行し、情報処理端末202からのコマンド待ち状態となる一方、通信が復帰できないと判断したときには、コマンドリターンモードに移行する。

## 【0089】

通信が復帰すると、情報処理端末202のBluetooth制御タスク40

9は、ファクシミリマネージャ401から受信した送信指示コマンドとパラメータを、そのままファクシミリ装置201に送信する。

【0090】

送信指示コマンドとパラメータを受信したイベントコントロールタスク307は、現在、ファクシミリ装置201が通信中でなく、送信予約が一杯ではないことを確認したときには、“OK”のレスポンスを情報処理端末202に送出する一方、これらの条件が満たされていないときには“NG”のレスポンスを送出する。

【0091】

ファクシミリ装置201から“OK”のレスポンスを受信すると、ファクシミリマネージャ401は、RS232Cなどのシリアルインタフェースや、セントロニクス（IEEE1284などに既定の標準インタフェース）などのパラレルインタフェースといった有線で接続されたときと同じコマンドインタフェースで送信画像データ転送処理を行う。なお、送信画像データ転送処理については、図8を用いて後述する。

【0092】

送信画像データ転送処理が終了すると、ファクシミリマネージャ401は、送信結果を知るために、ファクシミリ装置201に対して送信結果取得コマンドと受付番号を示したパラメータを発行する。送信結果取得コマンドを受信したイベントコントロールタスク307は、RAM103に記憶されている画像管理レコードに対して指示された受付番号の送信結果を検索し、レスポンスを返す。

【0093】

ファクシミリマネージャ401は、送信結果取得コマンドに対するレスポンスから送信終了と分かるまで、送信結果取得コマンドをファクシミリ装置201に発行する。

【0094】

情報処理端末202のBluetooth制御タスク409は、送信が終了したと判断すると、ファクシミリ装置201との通信を、再び省電力モードであるParkモードに移行させるため、Bluetoothコントローラ410にP

arkモード移行要求を行う。Parkモード移行要求を受けたBluetoothコントローラ410は、Bluetoothの仕様に従い、ファクシミリ装置201のBluetoothコントローラ309とParkモード移行手順を行う。移行手順が終了すると、各Bluetoothコントローラ309、410は、それぞれ各Bluetooth制御タスク308、409にParkモードに移行した旨を通知する。Parkモードに移行した旨の通知を受けると、各Bluetooth制御タスク308、409は、それぞれコマンドリターンモードに移行する。

## 【0095】

再び、情報処理端末202でユーザがファクシミリ送信、スキャン、あるいは、プリントなどのサービスを開始するか、ファクシミリ装置201の状態に変化があるまで、コマンドリターンモードは維持される。

## 【0096】

さらに、ある一定時間動作がないと、図2で説明したように、省電力スタンバイ(ESS)モードになる。ESSモードに入る前に、イベントコントロールタスク307は、Bluetooth制御タスク308からの状態情報取得コマンドに対して、ESS状態になることを表すレスポンスを返す。ESS状態のレスポンスを受けたBluetooth制御タスク308は、周期的に発行していた受信情報取得コマンドおよび状態情報取得コマンドの発行を停止して、ファクシミリ装置201がESSモードに移行できるようにする。

## 【0097】

図8は、図7の送信画像データ転送処理における情報処理端末202およびファクシミリ装置201間のコマンドおよびデータの転送制御の概略を示す図である。

## 【0098】

図8において、この処理は、情報処理端末202に記憶されている画像データをファクシミリ装置201に転送し、ファクシミリ装置201が指定された宛先にファクシミリ送信するものであり、情報処理端末202ではファクシミリマネージャ401が制御する。

【 0 0 9 9 】

まず、情報処理端末 2 0 2 は、受付番号取得コマンドを送信し、この受付番号取得コマンドを受信すると、ファクシミリ装置 2 0 1 は、送信指示コマンドを受信したときに割り振られ、RAM 1 0 3 に記憶されている受付番号を、“OK”の返答とともに送信する。

【 0 1 0 0 】

次に、情報処理端末 2 0 2 は、ページ情報指示コマンドに続いて、送信する画像データの主／副走査解像度、サイズ等の情報が設定されたパラメータを送信する。ファクシミリ装置 2 0 1 は、受信したパラメータから送信可能か否かを調査し、送信可能のときには、RAM 1 0 3 の管理情報に各パラメータを設定して、“OK”の返答を情報処理端末 2 0 2 に送信し、一方、送信不可のときには、“NG”の返答を情報処理端末 2 0 2 に送信する。

【 0 1 0 1 】

情報処理端末 2 0 2 は、ページ情報指示コマンドに対し“OK”の返答を受信すると、画像データ転送指示コマンドと画像データ、画像データサイズをファクシミリ装置 2 0 1 に送信する。

【 0 1 0 2 】

ファクシミリ装置 2 0 1 は、画像データ転送指示コマンドに応じて画像データを受信し、受信した画像データを画像メモリ 1 0 4 に蓄積し、“OK”の返答を送信する。画像メモリ 1 0 4 の容量が満杯になった場合には、“NG”の返答を送信した後、当該処理を終了する。

【 0 1 0 3 】

情報処理端末 2 0 2 は、画像データ転送指示コマンドに対して“OK”の返答を受信している間、1 ページ分の画像データを送信し、画像データ転送指示コマンドに対し“NG”の返答を受信すると、画像データの送信を中止し、送信サービスの異常終了を表示部に表示する。

【 0 1 0 4 】

画像メモリ 1 0 4 に所定量の送信画像データが蓄積されると、ファクシミリ装置 2 0 1 は、送信指示コマンドで指定された宛先電話番号に発呼し、ファクシミ

り送信を行う。ファクシミリ送信を1ページする毎に、画像メモリ104の該当するエリアを消去する。

## 【0105】

情報処理端末202は、1ページ分の画像データの送信を終了したときに、次の送信ページがある場合には、再度、ページ情報コマンドを送信して、上述の処理を繰り返す一方、次の送信ページがない場合には、当該処理を終了する。

## 【0106】

図9は、ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308が実行する電源オン処理の手順を示すフローチャートである。

## 【0107】

ファクシミリ装置201の電源をオンすると、図9の処理が起動され、Bluetooth制御タスク308の初期化処理を行う（ステップS1）。この初期化処理には、動作モードをコマンドスルーにする処理や、Bluetooth制御タスク308が管理する、受信画像のあり／なしを記憶する変数を「画像なし」にする処理も含まれている。

## 【0108】

ファクシミリ装置201は、この処理を行った後、情報処理端末202の立ち上がりを待つこととなる。

## 【0109】

図10は、ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308が実行する省電力スタンバイ（ESS）モードからの復帰処理の手順を示すフローチャートである。

## 【0110】

パワー管理部118にESSモードからの復帰要因が発生し、ESSモードから通常モードに復帰するとき、まずステップS11では、復帰要因がBluetoothコントローラ309へActive復帰要求があったことによるか否かを確認する。要因がActive復帰要求によるものである場合には、ステップS14で、Active復帰のモード変更通知を受信したか否かをチェックする。モード変更通知があれば、情報処理端末202からのコマンドをイベントコン

トロールタスク307へ送信するために、コマンドスルーモードとする（ステップS15）。Active復帰のモード変更通知がなく、通信が復帰できないときには、そのままコマンドリターンモードの状態にする（ステップS13）。

## 【0111】

ステップS11で、ESSモードからの復帰要因がActive復帰要求以外であった場合には、次にBluetoothコントローラ309にBluetoothの接続状態を問い合わせ、Parkモードが維持されたままであるか否かを判断する（ステップS12）。Parkモードが維持されている場合には、ステップS13に進み、コマンドリターンモードとする。Parkモードが維持されていなかった場合には、Piconetが解消されたと判断し、ステップS16に進み、Bluetooth制御タスク308の初期化処理を行い、動作モードをコマンドスルーモードにし、情報処理端末202の立ち上がりを待つこととなる。

## 【0112】

図11は、情報処理端末202のBluetooth制御タスク409が実行する電源オン処理の手順を示すフローチャートである。

## 【0113】

情報処理端末202の電源をオンするとファクシミリマネージャ401が起動され、ステップS21で、Bluetooth制御タスク409は、Bluetoothコントローラ410に“Inquiry”を送出する。

## 【0114】

ステップS22では、送出した“Inquiry”にファクシミリ装置201が応答したか否かを判断し、正常に応答した場合にはステップS24へ進み、正常に応答しなかった場合には、ステップS23に進む。

## 【0115】

ステップS23では、接続できるファクシミリ装置がない旨を情報処理端末202の前記表示部に通知した後に、本処理を終了する。

## 【0116】

ステップS24では、Bluetoothコントローラ410に接続要求を送

出して、ステップ S 2 5 に進む。

【0117】

ステップ S 2 5 では、接続要求に対する応答を待ち、Bluetooth コントローラ 4 1 0 から「接続要求失敗」が通知されたときにはステップ S 2 6 へ進み、「接続成功」が通知されたときにはステップ S 2 7 へ進む。

【0118】

ステップ S 2 6 では、ファクシミリ装置 2 0 1 との接続に失敗した旨を情報処理端末 2 0 2 の前記表示部に通知した後に、本処理を終了する。

【0119】

ステップ S 2 7 では、ファクシミリ装置 2 0 1 との接続が確立できたことを知らせる“Ready”をファクシミリマネージャ 4 0 1 に通知してステップ S 2 8 へ進み、ステップ S 2 8 では、コマンドスルーモードへ移行する。ここで、コマンドスルーモードとは、Bluetooth 制御タスク 4 0 9 が、ファクシミリマネージャ 4 0 1 からコマンドを受信したときには、これをBluetooth コントローラ 4 1 0 へ送出し、Bluetooth コントローラ 4 1 0 からレスポンスを受信したときには、これをファクシミリマネージャ 4 0 1 に送出する動作モードをいう。

【0120】

ファクシミリマネージャ 4 0 1 は、上記 Ready 信号を受けると、“Serial Port Profile”を使用して、ファクシミリマネージャ 4 0 1 とファクシミリ装置 2 0 1 のイベントコントロールタスク 3 0 7 との間の初期化処理を行う。

【0121】

初期化処理が終了すると、ファクシミリマネージャ 4 0 1 は、定期的に受信情報取得コマンドを送出して、ファクシミリ装置 2 0 1 に受信画像があるか否かを監視ようになる。ステップ S 2 9 では、この受信情報取得コマンドに対するレスポンスを受信したか否かを判定し、受信したときには、ステップ S 3 0 で、その中にある受信画像あり／なしの情報をBluetooth 制御タスク 4 0 9 内部に記憶しておく。



## 【0122】

ステップS31では、ファクシミリ装置201主導でParkモードに移行したことの通知を受信したか否かを判定し、通知を受信していない場合には、ステップS29に戻ってコマンドスルーモードを継続し、通知を受信した場合にはステップS32へ進んでコマンドリターンモードに移行し、本電源オン処理を終了する。

## 【0123】

なお、Bluetooth制御タスク409のコマンドリターンモードについては、図13を用いて後述する。

## 【0124】

図12は、ファクシミリ装置201のBluetooth制御タスク308が実行する送信サービス処理の手順を示すフローチャートである。なお、Bluetooth制御タスク308は、受信画像がなく、情報処理端末202からのサービス要求もない状態では、コマンドリターンモードになっているものとする。

## 【0125】

同図において、ステップS41では、受信情報取得コマンドをイベントコントロールタスク307へ送出し、ステップS42では、レスポンスを受信する。

## 【0126】

レスポンスを受信すると、ステップS43で、レスポンスに格納された受信情報（画像あり／なし）をBluetooth制御タスク308内部に記憶しておく。

## 【0127】

ステップS44では、情報処理端末202主導によるActiveモードへの移行が実行され、モード移行通知が受信されたか否かを判定し、受信していない場合にはステップS45へ進み、受信した場合にはステップS46へ進み、コマンドスルーモードに移行する。

## 【0128】

ステップS44で、受信していない場合にはステップS45へ進み、受信情報取得コマンド等のコマンドをイベントマネージャに定期的に出送するためにウェ

イトした後、ステップS41に戻る。

【0129】

ステップS46では、情報処理端末202主導によるParkモードへの移行が実行され、モード移行通知が受信されたか否かを判定し、受信していない場合にはステップS47へ進み、受信した場合にはステップS41に戻って、コマンドリターンモードに移行する。

【0130】

ステップS47では、コマンドを受信したか否かを判定し、コマンドを受信した場合にはステップS48へ進んで、イベントコントロールタスク307へコマンドを送出し、ステップS46へ進む一方、受信していない場合にはステップS49へ進む。

【0131】

ステップS49では、画像を受信したか否かを判定し、画像を受信した場合にはステップS50へ進んで、画像をBluetoothコントローラ309へ送出し、ステップS46へ進む一方、受信していない場合にはステップS51へ進む。

【0132】

ステップS51では、レスポンスを受信したか否かを判定し、受信していない場合にはステップS46へ進み、受信した場合にはステップS52へ進む。

【0133】

ステップS52では、受信したレスポンスをBluetoothコントローラ309へ送出し、ステップS46へ進む。

【0134】

図13は、情報処理端末202のBluetooth制御タスク409が実行する送信サービス処理の手順を示すフローチャートである。なお、Bluetooth制御タスク409は、受信画像がない、または、ファクシミリマネージャ401からのサービス要求コマンドがない状態では、コマンドリターンモードになっているものとする。

【0135】

同図において、ステップS61では、ファクシミリマネージャ401からのコマンドを受信したか否かを判定し、受信した場合にはステップS62へ進む一方、受信していない場合にはコマンドが来るまで待機する。

## 【0136】

ステップS62では、ファクシミリマネージャ401から受信したコマンドが送信指示コマンドか否かを判定し、送信指示コマンドの場合にはステップS64に進み、送信指示コマンドではない場合には、ステップS63に進む。

## 【0137】

ステップS63では、受信したコマンドに従い、必要なレスポンスをファクシミリマネージャ401に返した後、ステップS61に戻り、ファクシミリマネージャ401からのコマンドを待つ。

## 【0138】

ステップS64では、ファクシミリマネージャ401から受信した送信指示コマンドとパラメータを情報処理端末202に記憶し、Active復帰要求をBluetoothコントローラ410へ送出した後、ステップS65へ進む。

## 【0139】

ステップS65では、モード移行通知が受信され、“Active”に復帰できたか否かを判定し、“Active”に復帰できたときには、コマンドスルーモードに移行し、ステップS67に進む。一方、“Active”に復帰できなかった場合には、ファクシミリマネージャ401に“NG”レスポンスを送出し、ステップS61に戻って、コマンドリターンモードに移行する。

## 【0140】

ステップS67では、情報処理端末202に記憶されているファクシミリマネージャ401から受信した送信指示コマンドとパラメータをBluetoothコントローラ410に送信して、ステップS68に進む。

## 【0141】

ステップS68では、コマンドを受信したか否かを判定し、受信しているときにはステップS69に進んで、Bluetoothコントローラ410へコマンドを送出し、受信していないときにはステップS70へ進む。

【0142】

ステップS70では、画像を受信したか否かを判断し、受信した場合にはステップS71に進んで、Bluetoothコントローラ410に画像を送出し、受信していない場合にはステップS72へ進む。

【0143】

ステップS72では、レスポンスを受信したか否かを判定し、受信した場合にはステップS73へ進んで、ファクシミリマネージャ401にレスポンスを送出し、受信していない場合にはステップS74へ進む。

【0144】

ステップS74では、送信サービスが終了したか否かを判定し、終了していないときにはステップS68に戻り、送信サービスが終了しているときにはステップS75に進む。

【0145】

ステップS75では、Parkモード移行要求をBluetoothコントローラ410に送出し、コマンドリターンモードに移行した後に、ステップS61に戻る。

【0146】

なお、上述した実施の形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システムまたは装置に供給し、そのシステムまたは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【0147】

この場合、記憶媒体から読出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0148】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、たとえば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD

ーR、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROMなどを用いることができる。また、通信ネットワークを介してサーバコンピュータからプログラムコードが供給されるようにしてもよい。

【0149】

また、コンピュータが読出したプログラムコードを実行することにより、上述した実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOSなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって上述した実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0150】

さらに、記憶媒体から読出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって上述した実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0151】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、画像処理装置と情報処理装置との間でコマンドのやりとりをする必要のあるときのみ前記情報処理装置とデータの授受ができる接続状態（Bluetoothの場合には「Activeモード」）とし、通常はデータの授受ができない低消費電力の状態（Bluetoothの場合には「Parkモード」）とすることによって、無線チャネルのトラフィックの増加を抑え、かつ消費電力も抑えるだけでなく、Parkモードにあるときは画像処理装置を省電力スタンバイになるようにして、より一層消費電力を抑えることが可能となる。

【0152】

さらに、情報処理装置とデータの授受を行う必要が生じたときには、ParkモードからActiveモードへ移行させ、Activeモードへの移行によっ

て画像処理装置を省電力スタンバイモードから通常モードに移行させるようにしたので、情報処理装置との通信は滞りなく行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施の形態に係る画像処理システムを構成する画像処理装置の概略構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 のパワー制御部とその周辺の構成を示すブロック図である。

【図 3】

本実施の形態の画像処理システム構成の一例を示すブロック図である。

【図 4】

図 1 の画像処理装置の CPU が実行する制御ソフトウェアの階層構造の一例を示す図である。

【図 5】

図 3 の情報処理端末の CPU が実行する制御ソフトウェアの階層構造の一例を示す図である。

【図 6】

図 3 の画像処理システムを起動させたときの通信フローを示す図である。

【図 7】

図 3 の画像処理システムにおいて画像処理装置から情報処理端末への送信画像転送処理時の通信フローを示す図である、

【図 8】

図 3 の画像処理システムにおいて画像処理装置から情報処理端末への送信画像転送処理時のコマンドフローを示す図である。

【図 9】

図 1 の画像処理装置の Bluetooth 制御タスクが実行する電源オン処理の手順を示すフローチャートである。

【図 1 0】

図 1 の画像処理装置の Bluetooth 制御タスクが実行する ESS からの

復帰処理の手順を示すフローチャートである。

【図 1 1】

図 3 の情報処理端末の Bluetooth 制御タスクが実行する電源オン処理の手順を示すフローチャートである。

【図 1 2】

図 1 の画像処理装置の Bluetooth 制御タスクが実行する送信サービス処理の手順を示すフローチャートである。

【図 1 3】

図 3 の情報処理端末の Bluetooth 制御タスクが実行する送信サービス処理の手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 0 1 CPU
- 1 0 2 ROM
- 1 0 3 RAM
- 1 0 4 画像メモリ
- 1 0 5 データ変換部
- 1 0 6 読取制御部
- 1 0 7 読取部
- 1 0 8 操作部
- 1 0 9 通信制御部
- 1 1 0 留守録制御部
- 1 1 1 解像度変換処理部
- 1 1 2 符号復号化処理部
- 1 1 3 記録制御部
- 1 1 4 カラープリンタ
- 1 1 5 Bluetooth 制御部
- 1 1 6 Bluetooth ベースバンド処理部
- 1 1 7 2. 4 GHz 高周波部
- 1 1 8 パワー制御部

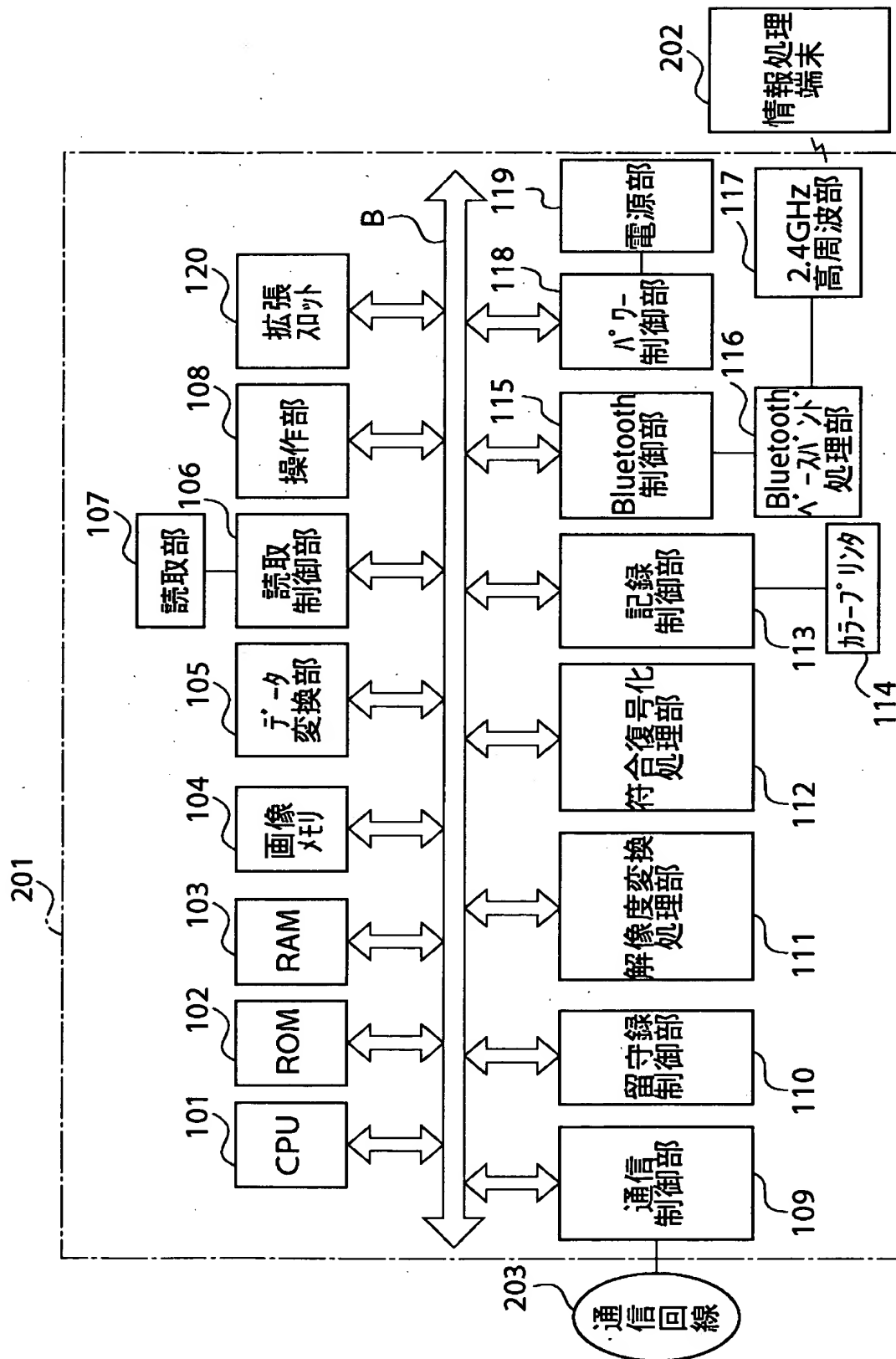
- 119 電源部
- 120 拡張スロット
- B バス
- 131 CPUへのスリープモード解除信号
- 132 Active復帰要求に基づく.ESSからの復帰要因信号
- 133 電源部への制御信号
- 201 ファクシミリ装置
- 202 情報処理装置
- 203 通信回線
- 204 相手側端末
- 301 Scanner制御タスク
- 302 Printer制御タスク
- 303 Fax制御タスク
- 304 MMI制御タスク
- 305 Phone制御タスク
- 306 ジョブコントロールタスク
- 307 イベントコントロールタスク
- 308, 409 Bluetooth制御タスク
- 309, 410 Bluetoothコントローラ
- 310, 411 Bluetoothドライバ
- 311, 412 OS
- 401 ファクシミリマネージャ
- 402 インボックス
- 403 アウトボックス
- 404 プリンタアプリケーション
- 405 プリンタドライバ
- 406 スキャナアプリケーション
- 407 スキャナドライバ



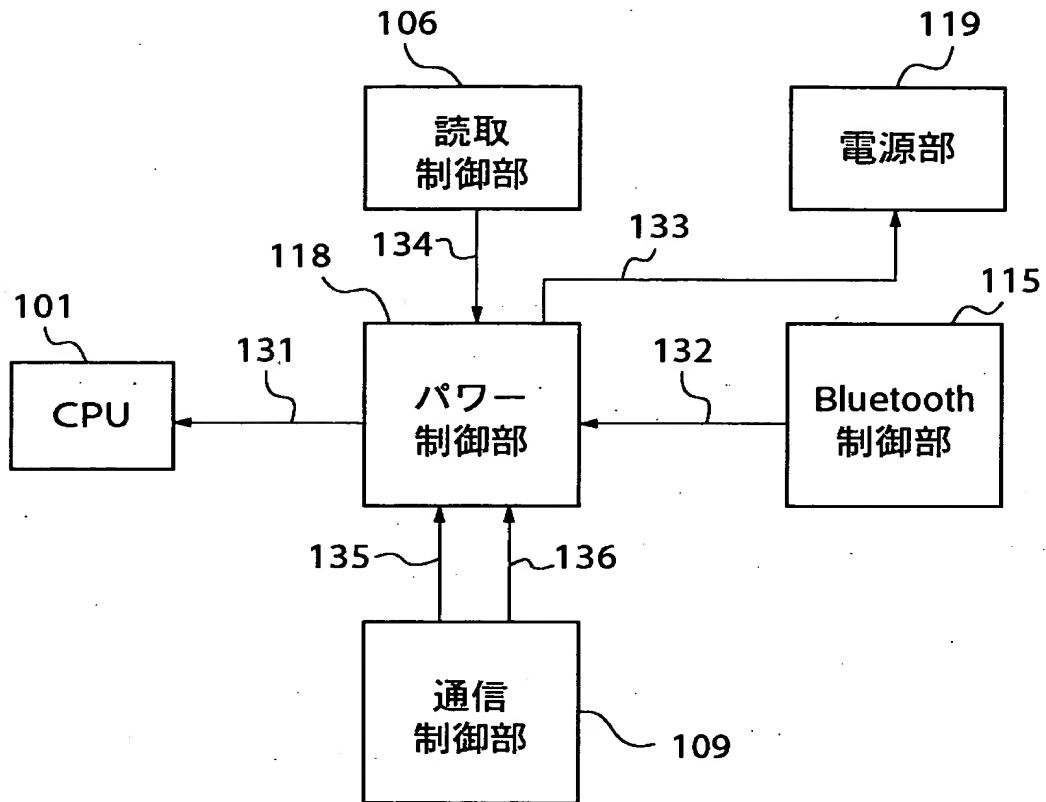
【書類名】

図面

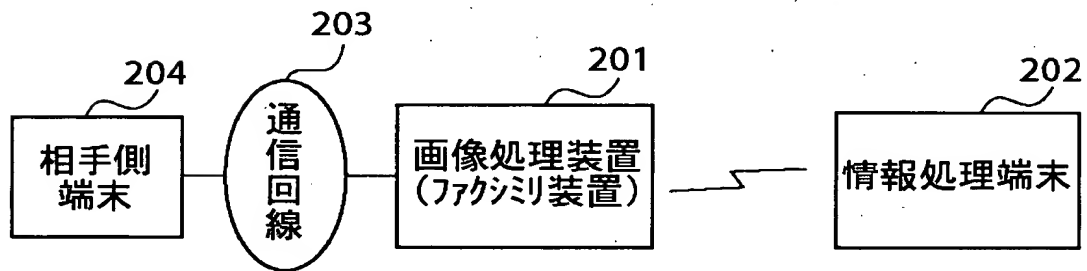
【図 1】



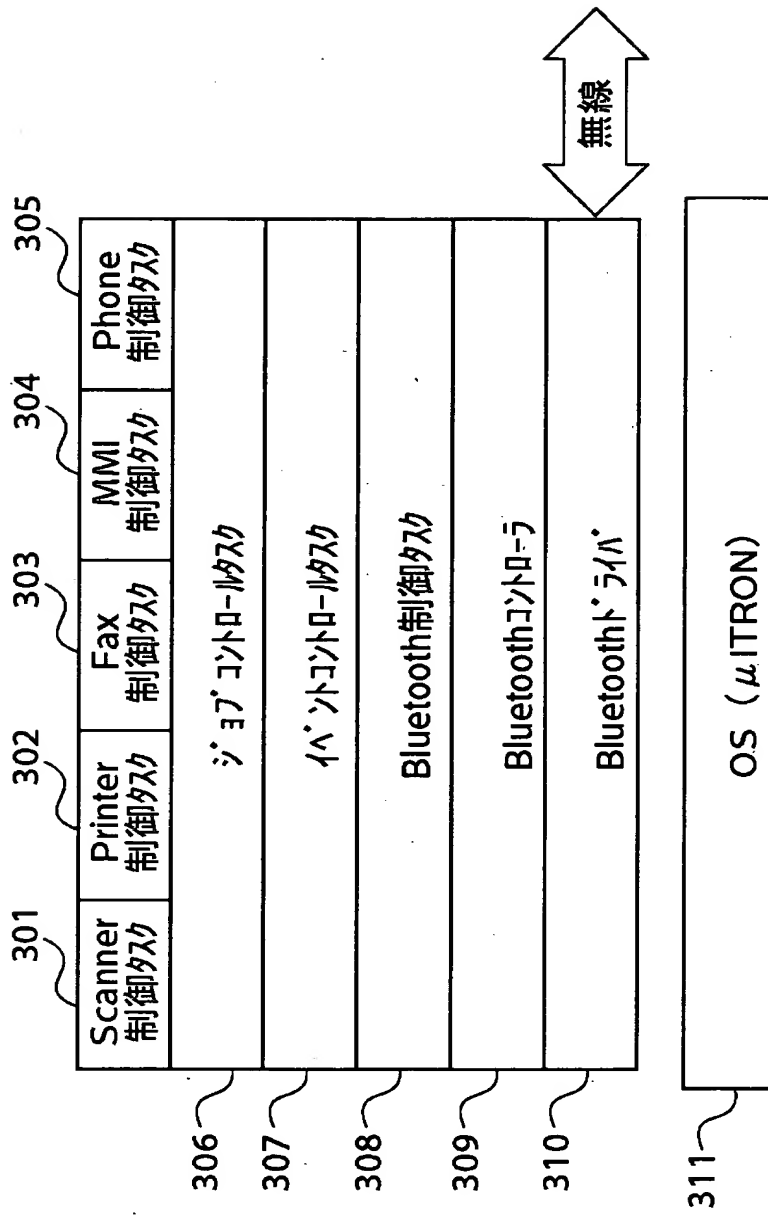
【図 2】



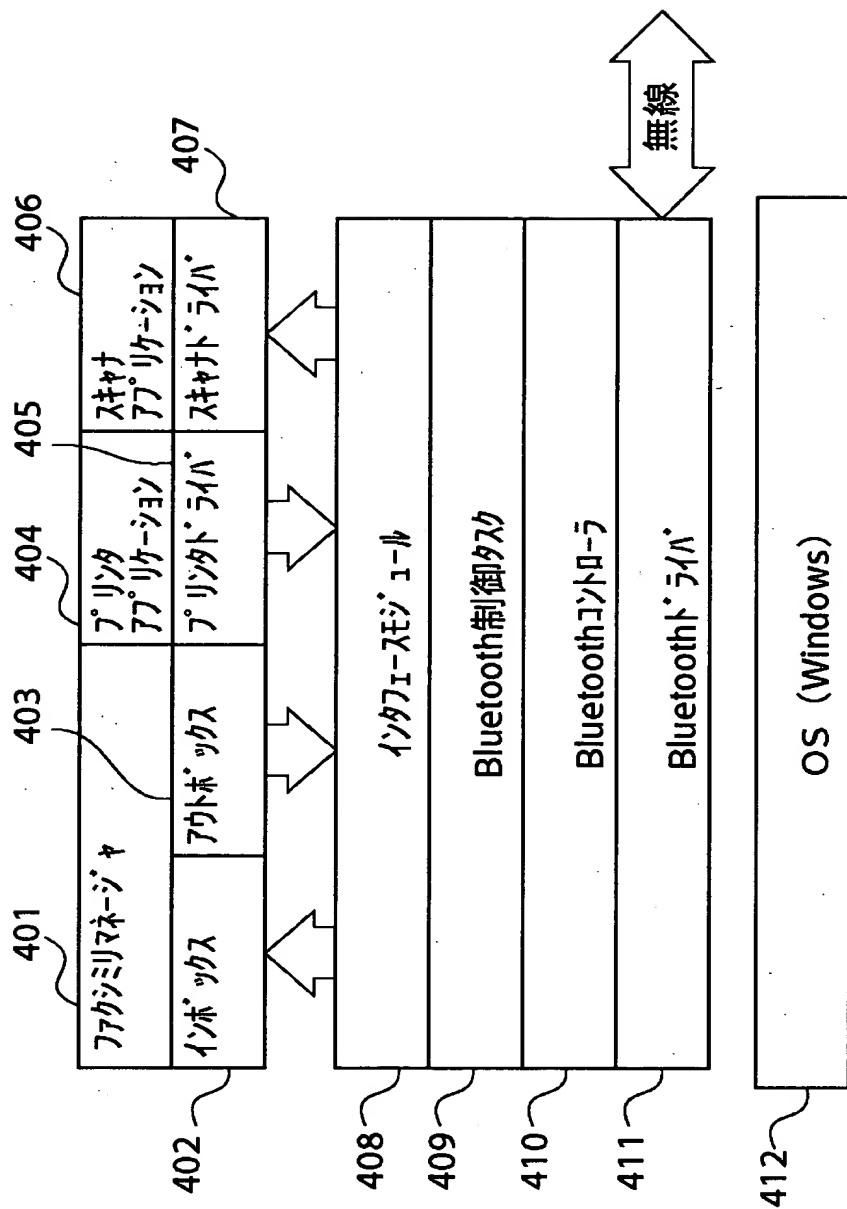
【図 3】



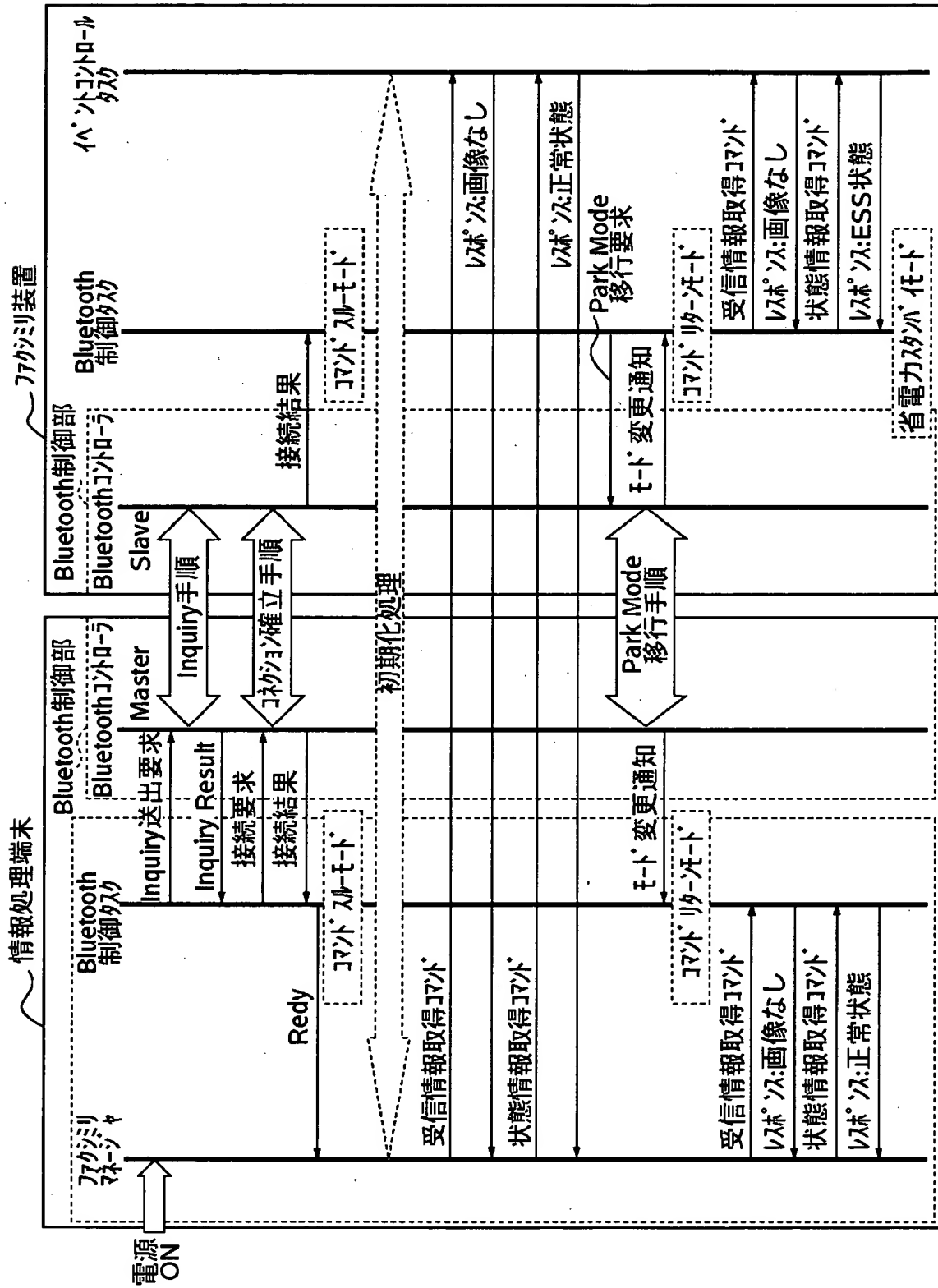
【図4】



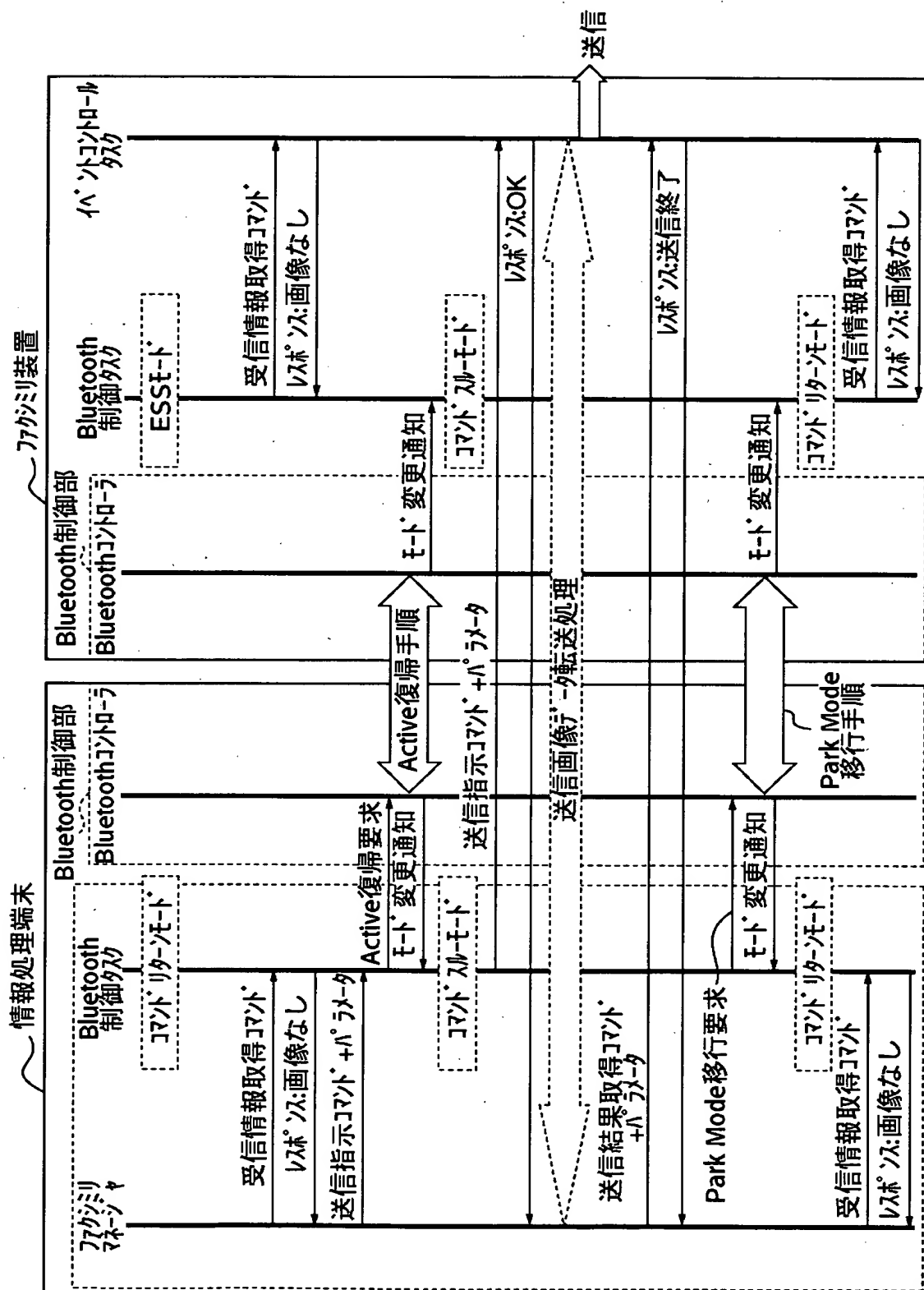
【図 5】



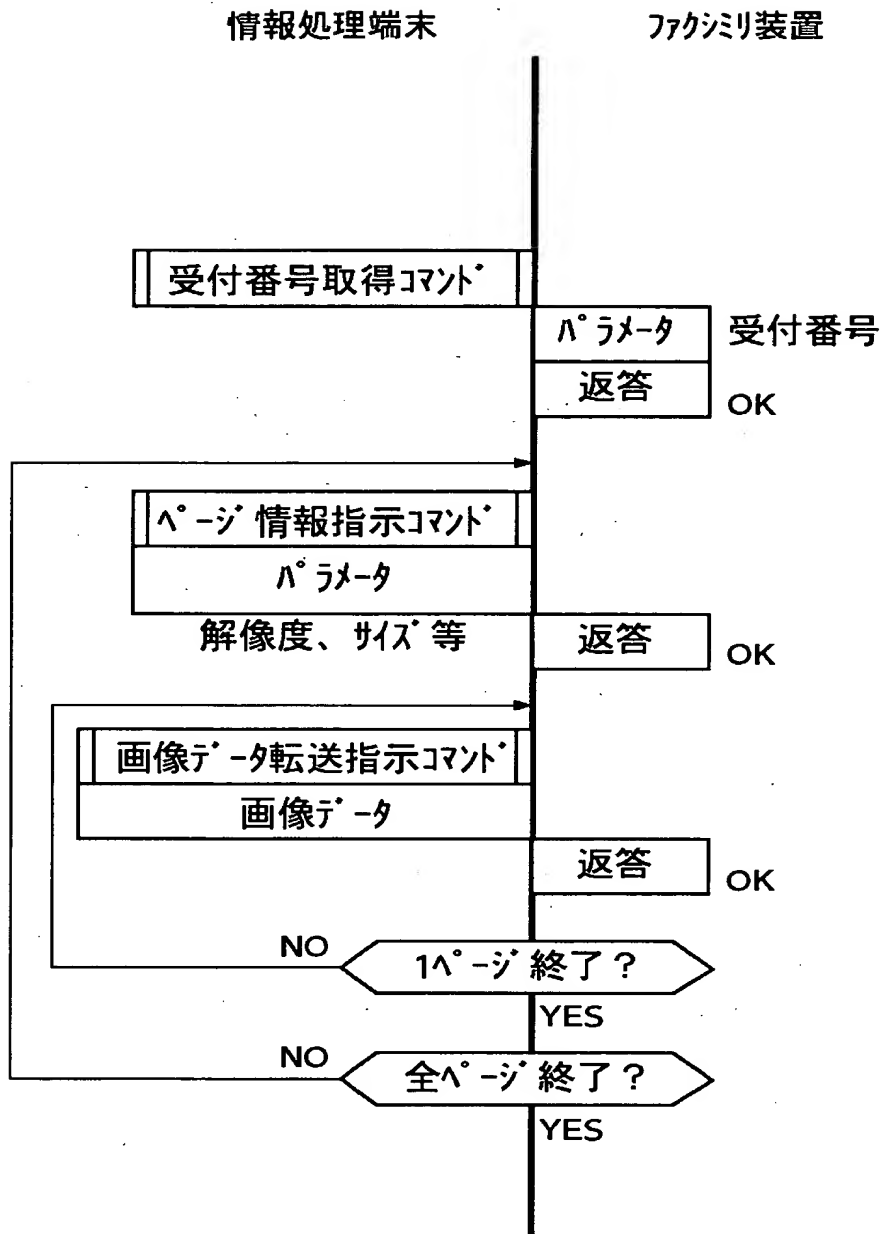
【図 6】



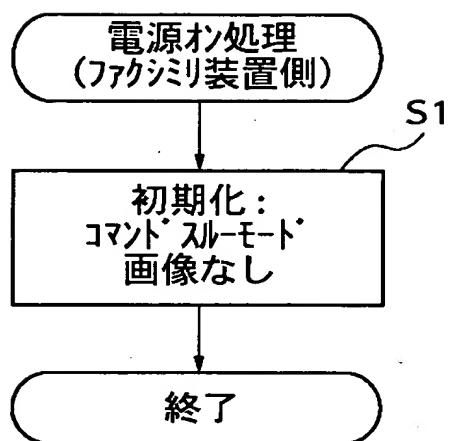
【図 7】



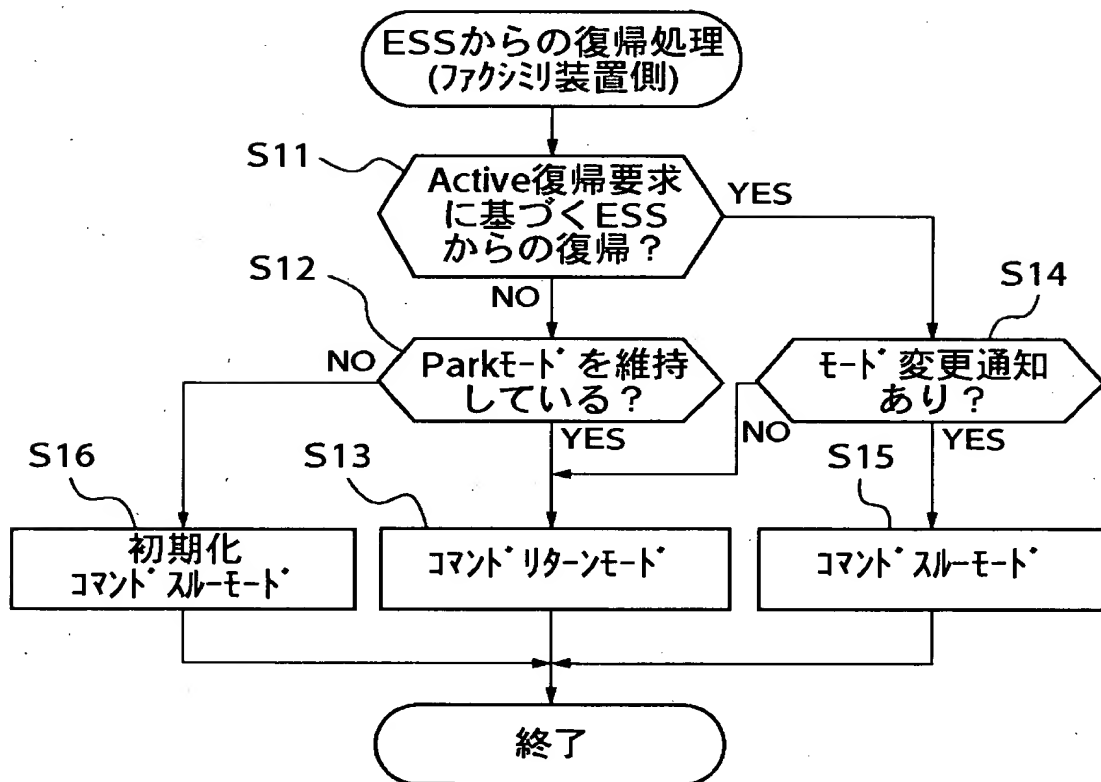
【図 8】



【図9】

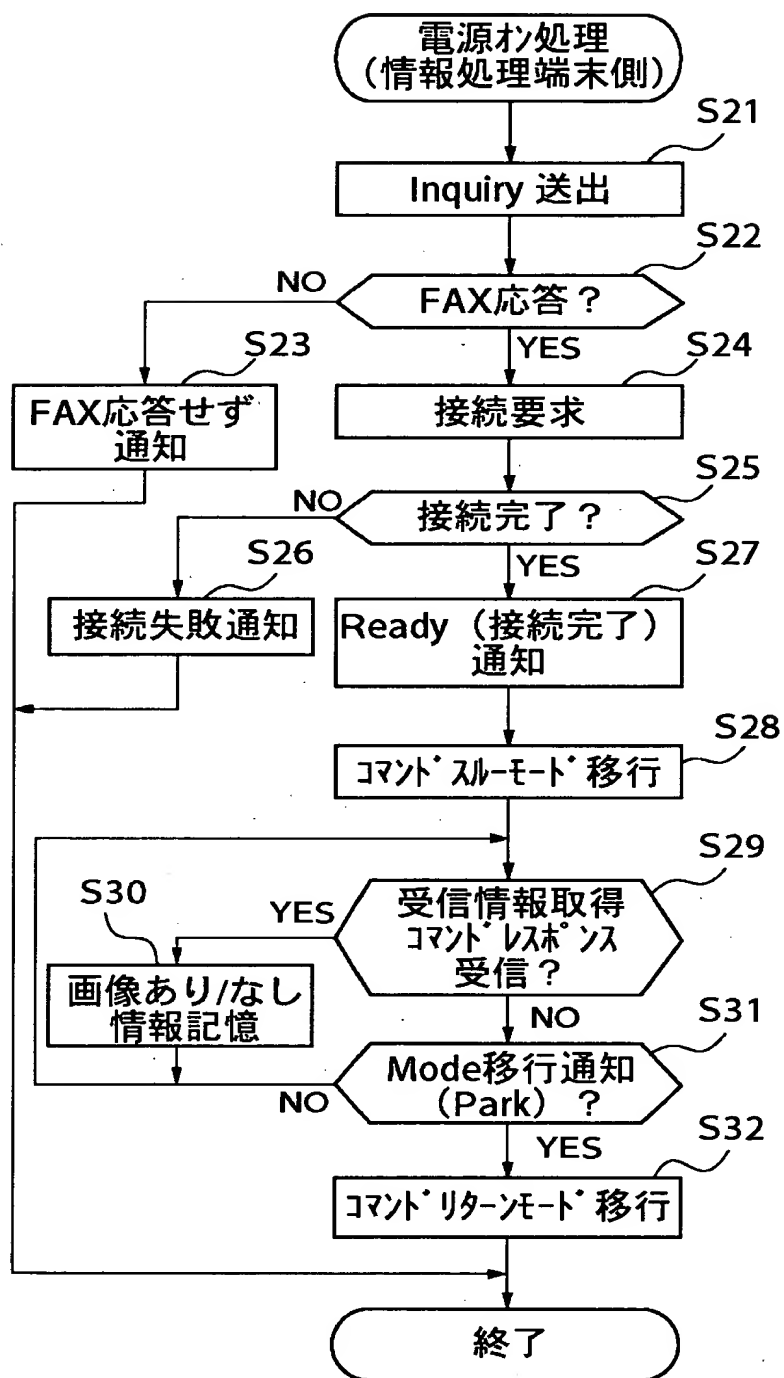


【図10】

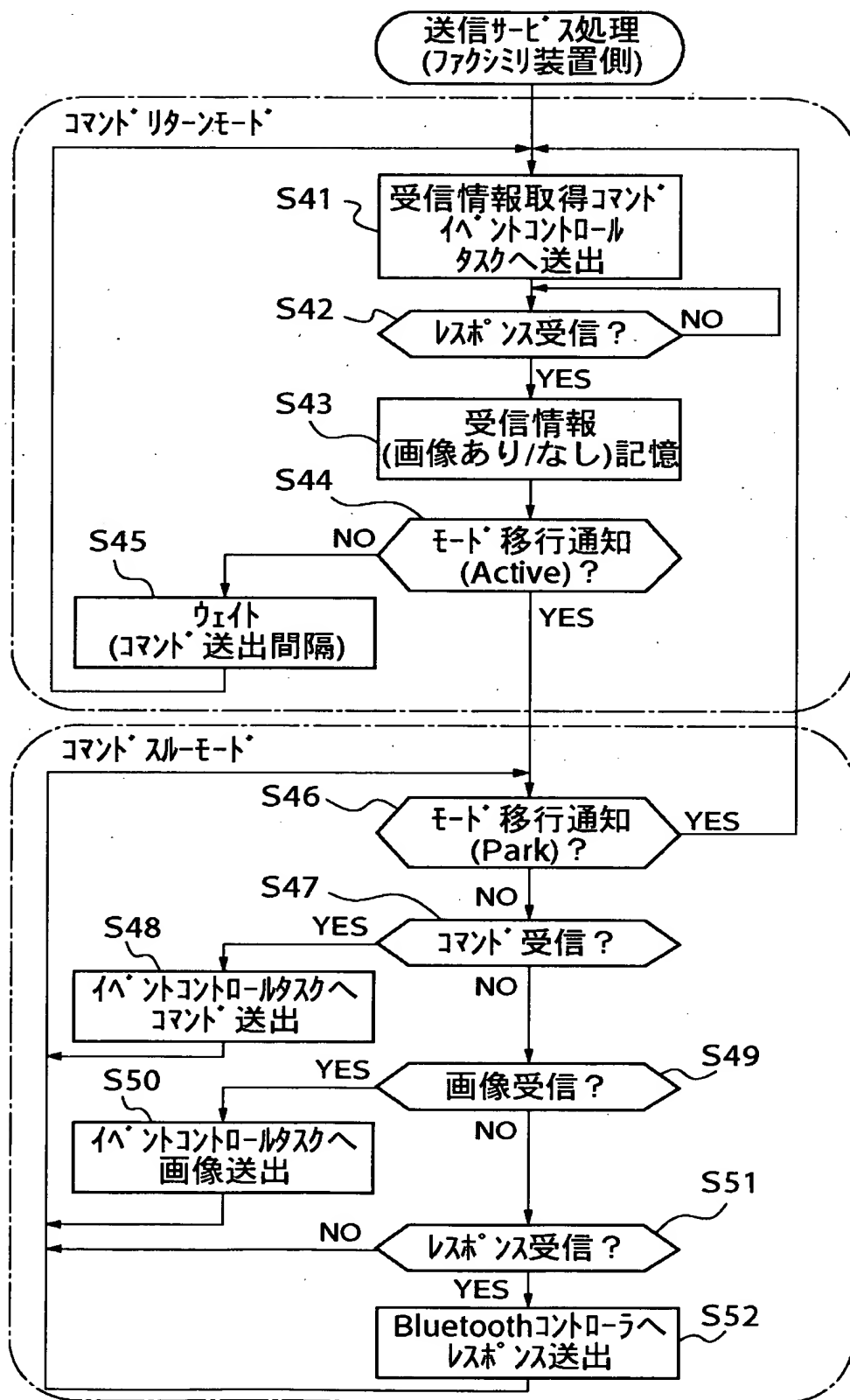




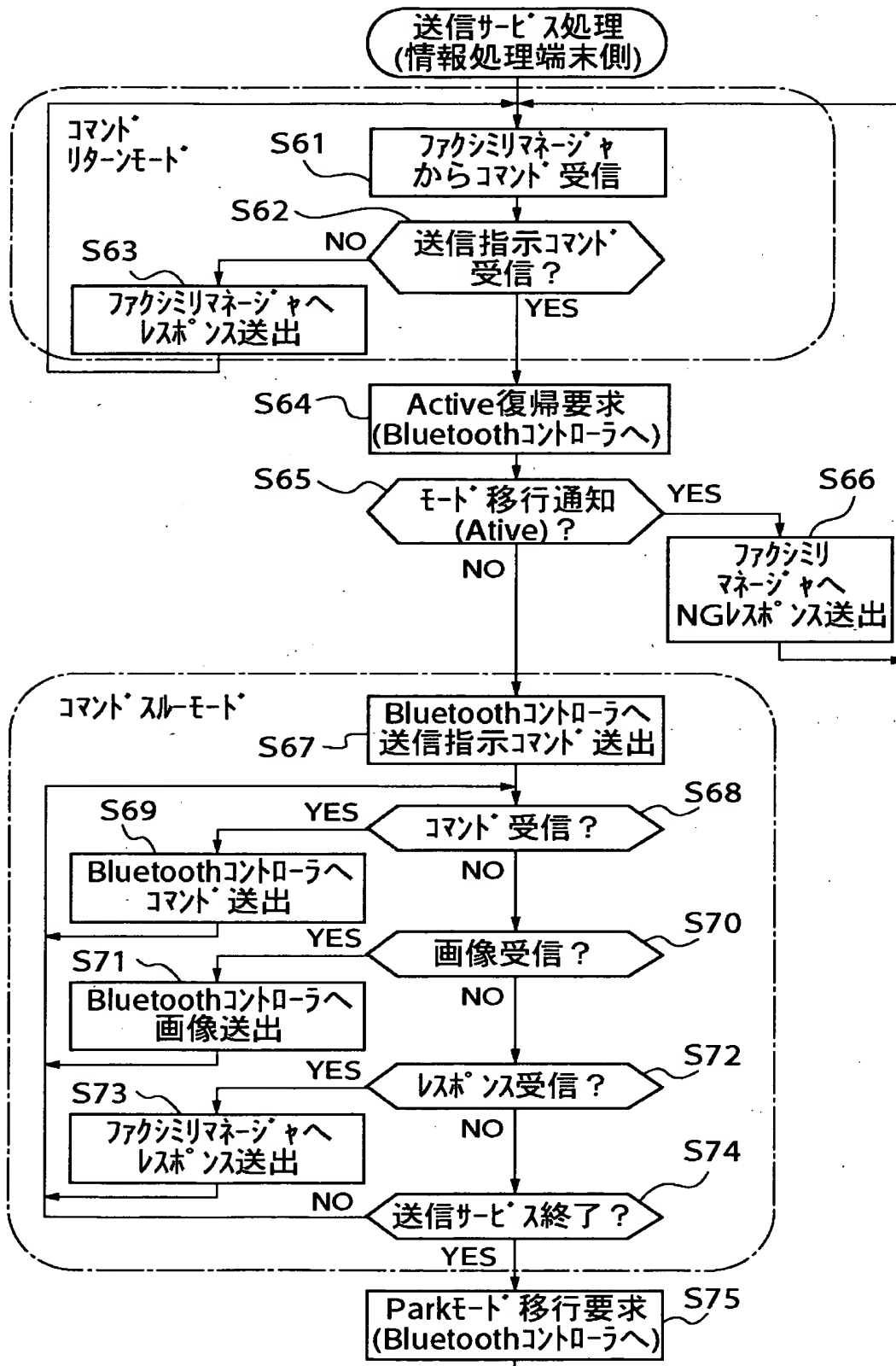
【図 11】



【図12】



【図 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報処理装置と画像処理装置の設置場所の自由度を飛躍的に向上させ、これにより、ユーザが各装置を使い易いように自由にレイアウトすることができ、また、無線チャンネルを占有せず、画像処理装置の状態をポーリングするコマンドおよびそのレスポンスの送受による電力消費を低減させ、さらに、画像処理装置が情報処理装置と接続された状態であっても省電力スタンバイ状態に移行でき、これにより、さらに消費電力を低減させることが可能な画像処理システム、その制御方法および記憶媒体を提供する。

【解決手段】 省電力スタンバイ（E S S）からの復帰要因が発生し、E S Sから通常モードに復帰するとき、その復帰要因がB l u e t o o t hコントローラへA c t i v e復帰要求があったことによる場合であり、A c t i v e復帰のモード変更通知があれば、情報処理端末からのコマンドをイベントコントロールタスクへ送るために、コマンドスルーモードとし、A c t i v e復帰のモード変更通知がなければ、通信が復帰できないため、そのままコマンドリターンモードとする。一方、その復帰要因がA c t i v e復帰要求があったこと以外による場合であり、P a r kモードが維持されていれば、コマンドリターンモードとし、P a r kモードが維持されていなければ、B l u e t o o t h制御タスクの初期化を行い、動作モードをコマンドスルーモードとした後に、情報処理端末の立ち上がりを待つ。

【選択図】 図 1 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
氏 名 キヤノン株式会社